

## 東レ科学技術研究助成候補者推薦要領

1. 候補者の対象 …… 貴学協会が関与する分野で、国内の研究機関において、自らのアイデアで萌芽的研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下）。本助成が重要かつ中心的な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。  
申請の基となった研究が海外で行われていても差し支えありません。
2. 研究助成金 …… 総額1億3千万円。1件3千万円程度まで10件程度とします。
3. 推薦者 …… 当会指定の学協会の代表者、および当会の推薦人（非公開）
4. 候補者推薦件数 …… 1学協会から2件以内および1推薦人から1件以内
5. 推薦手続 …… 所定の推薦書用紙に、選考に必要な事項を正確に記載し、当会あて1部ご送付願います。論文の別刷（コピー）を2部ずつ添付してください。
6. 推薦締切期日 …… 令和3年10月8日（金）必着
7. 選考方法 …… 下記委員からなる選考委員会において、提出された書類による一次選考を行ったのち、面接による二次選考を経て、理事会で決定します。  
なお、二次選考は令和3年12月下旬に行います。  
選考委員 清水孝雄（委員長） 相原博昭 石野史敏 伊藤耕三  
菊池章 木本恒暢 桑昭苑 樽茶清悟 八島栄次  
選考結果は令和4年2月下旬に推薦者（学協会の代表者または当会の推薦人）に通知します。
8. 研究助成金の贈呈式 …… 令和4年3月14日（月）（予定）

- （注）
- a. 候補者は、必ずしも貴学協会会員であることを要しません。
  - b. 当会では専門分野の異なる選考委員全員が選考に関与します。推薦書は研究領域の異なる研究者にも理解できるように記述して下さい。
  - c. この研究助成金は、研究目的を達成するために有効に使用されるものであれば、どのような用途で申請されても結構です。ただし、原則として間接経費、管理経費、共通経費は助成の対象になりません。また、助成金受領決定後、その用途を変更される場合は、事前に当会の承諾を得ていただきます。  
助成研究の期間は、特別の事情がない限り助成金受領決定の次年度から3年以内とします。
  - d. 助成金の受領者は、研究終了時まで毎年「助成研究年次報告書」を、また研究終了時に、「助成研究終了報告書」を提出していただきます。
  - e. この助成金は、所得税法（第9条第1項第13号ニ）の規定により非課税となっています。
  - f. 推薦書の用紙は、下記ウェブサイト（URL）からダウンロードできます。
  - g. 「推薦書の個人情報に関する取り扱いについて」を確認のうえ、その内容に同意した候補者のみ推薦して下さい。

（推薦書提出先・連絡先）

公益財団法人 東レ科学振興会

〒103-0021

東京都中央区日本橋本石町三丁目3番16号（日本橋室町ビル）

TEL：03-6262-1655

FAX：03-6262-1901

URL：www.toray-sf.or.jp

第 62 回 (令和 3 年度)  
東レ科学技術研究助成候補者推薦書

助成

令和 3 年 月 日

公益財団法人 東レ科学振興会 御中

推薦者

学協会名称

〒

所在地

(電話 - - )

代表者

役職氏名

印

東レ科学技術研究助成候補として下記の者を推薦します。

助成候補者	ふりがな 氏名 (生年月日)
	所属機関部局・役職 所属機関所在地 〒 電話 自宅住所 〒 電話
推薦理由	
研究題目	
研究助成金希望金額	千円
<p>(以下の各頁の記載に当たっては、研究領域の異なる研究者にも理解できるように記述して下さい。大きなプロジェクトの一部を担当しているときは、候補者の位置づけ・研究の独自性を明確にして下さい。本推薦書の「5. 従来の研究実績」までを3頁に収めて下さい。その枠内であれば、1から5項の各スペースは、適宜増減していただいて結構です。)</p> <p><b>1. 研究の目標</b> (何を目標として研究を計画しているか、具体的に記述して下さい。必要に応じて発表等を引用して下さい。本助成によって申請研究にどんな発展が期待できるかについても記述して下さい。)</p>	

(注) ワードプロセッサまたは黒ボールペンで明瞭に記入して下さい。  
ただし、「1. 研究の目標」以降は、ワードプロセッサ (10.5 ポイント以上、1 頁 40 字×40 行程度、明朝体相当) で記入して下さい。  
ワードプロセッサで同様の様式の用紙を作成して提出されても結構です。  
論文リスト以外は所定の頁の範囲で記載して下さい。

**2. 研究計画**（前項「1. 研究の目標」へ向けての今後3年間前後の研究の計画を具体的に記述して下さい。  
その後の長期構想に言及することはご自由です。）

**3. 関連領域における本研究の位置づけ**（計画中の研究が世界の研究発展の中でどのように位置づけられるのか具体的に記載して下さい。）

4. 主な協力研究者 (学生は除く。)

氏名 (生年月日) <small>ふりがな</small>	所属機関部局・役職等	所属機関所在地

5. 従来の研究実績 (研究テーマの発展を候補者の文献を引用しながら、年代順に具体的に記述して下さい。前項の研究目標・計画の基となった知見は特にその意義を強調して下さい。)

6. 助成金の使途内訳 (「1. 設備備品費 2. 消耗品費 3. その他の費用」に大区分し、それぞれさらに内訳を記載して下さい。所要経費の見積総額を記し、総額と助成希望金額との間に差異がある場合には、その差額の調達方法も併記して下さい。主要な機器についてはなるべく具体的に記述して下さい。)

7. 令和元年度以降の省庁、独立行政法人、財団法人等からの助成

(助成金の名称、研究課題と直接経費の金額を具体的に記述して下さい。候補者が研究分担者の場合は研究代表者の氏名と助成金の総額および候補者への配分額も記述して下さい。)

確定しているもの (研究期間が終了しているものを含む)

応募中のもの

8. 候補者の経歴・研究歴・受賞歴

## 9. 候補者の主要な論文のリスト

- ・著者名(全員)、表題、掲載誌(正式略名)、巻、始めと終りの頁、年の順で明記して下さい。紙面が不足の場合は、A4判用紙で追加して下さい。
- ・また、代表的な論文を5件以内に絞って、論文リスト番号の先頭に「\*」印を付し、別刷もしくはコピー2部ずつを添付して下さい。別刷(コピー)の表紙には論文リスト番号を記して下さい。別刷(コピー)は原則として返却いたしません。

## 推薦書の個人情報に関する取り扱いについて

公益財団法人 東レ科学振興会

推薦用紙に記載いただきました氏名、生年月日、住所、所属機関、役職、電話番号、研究題目、推薦学協会、研究の目標、研究計画および協力研究者の氏名・所属機関・役職に関しましては、「個人情報保護に関する法律」に則り個人情報として厳正に管理し、下記の目的に限り利用いたします。

1. 東レ科学技術研究助成の選考および選考結果の通知
2. 同受領決定後の諸手続の連絡および贈呈式の案内
3. 受領者決定の公表（氏名、年齢、所属機関、役職、研究題目、助成金額、推薦学協会、研究の目標、研究計画、協力研究者の氏名・所属機関・役職）
4. 東レ科学技術研究助成に関する当会内管理業務
5. 当会主催科学振興事業の開催の案内
6. 当会刊行物の送付

以上